JAXA 相模原キャンパス特別公開 2026

ミニ講演会

話題の惑星・小惑星探査ミッションを
研究者がわかりやすく紹介！

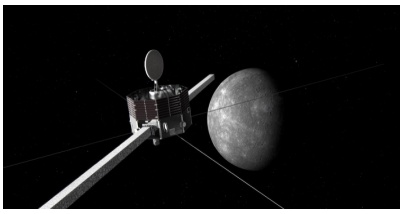
2026年11月7日（土） 12:00–13:20
国民生活センター 講堂 ｜ 各講演15分＋質疑5分

MC 山崎大輝
（宇宙科学研究所 太陽系科学研究系 特任助教）

TIMETABLE / タイムテーブル

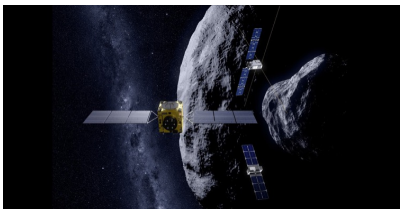
12:00–12:20	01	みお	田中寛人（研究開発部門 第二研究ユニット 研究開発員）
12:20–12:40	02	Hera	坂谷尚哉（宇宙科学研究所 太陽系科学研究系 特任助教）
12:40–13:00	03	はやぶさ２	藤原正寛（研究開発部門 第一研究ユニット 研究開発員）
13:00–13:20	04	MMX	町元恵瑠（火星衛星探査機プロジェクトチーム）

LECTURES / 講演ラインアップ



01 もうすぐ到着！水星探査機『みお』のアツい冒険に迫る

太陽に最も近い惑星「水星」。その過酷な環境に挑む探査機「みお」が、いよいよ水星到着まで1か月を切りました。灼熱の宇宙空間で探査機はどのように生き残るのか。熱との闘いを支える技術と、水星の謎を解き明かすミッションの魅力を紹介します。



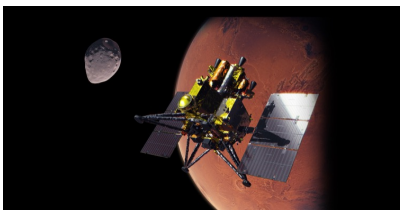
02 二重小惑星探査計画 Hera：到着間近！

Heraは欧州宇宙機関ESAが実施する二重小惑星系Didymos/Dimorphosの探査計画で、JAXAは熱赤外カメラTIRIを提供しています。Heraはもうすぐ二重小惑星に到着予定！最新情報をお伝えします。



03 はやぶさ２、小惑星に大接近！ ―トリフネへの挑戦―

2026年7月5日、探査機はやぶさ２は小惑星トリフネのすぐ近くを通り抜ける「超近接フライバイ」に挑戦しました。遠く離れた宇宙では、地球からの指示だけで探査機を動かすことは簡単ではありません。そこで、はやぶさ２がカメラで小惑星を観測し、自分で進む道を計算して軌道を修正する技術を開発しました。本講演では、どのように小惑星に近づいたのか、その仕組みや開発の苦労、実際のフライバイの様子を紹介します。



04 10/20打上げ成功！ MMX フォボスへ［仮］

2026年10月20日午前4時41分03秒に種子島宇宙センターからH3ロケット10号機に載って火星の衛星フォボスへ向けた長い旅を開始したMMX。開発や国際協力の舞台裏について紹介します。

JAXA 相模原キャンパス特別公開 2026 公式HPは右QRより